

取組事例 観光資源の活用による交流人口の拡大等

(置戸町)

置戸町では、観光資源や自然素材を有機的に連携し、交流人口の拡大を図ることで、地域活性化を図り活気ある賑わいのあるまちづくりを目指している。

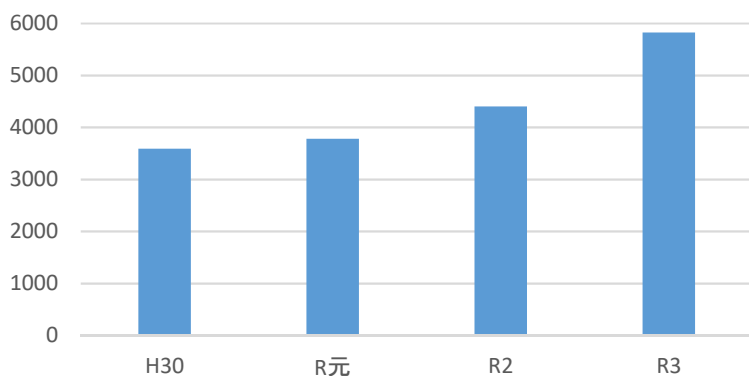
関連数値目標・KPI

	基準値	実績 (R3)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
観光客の 宿泊数	(H30) 3,442	5,825	4,000	145.6

取組の推進体制

町民が中心となって立ち上げた一般社団法人に施設運営を委託し、町と法人と双方で連携しながら健全な運営及び施設のPRと利用促進や制度周知を図っている。

宿泊者数の状況



宿泊施設利用率が、増加傾向にある

取組事例 コロナ禍での魅力発信及び施設整備の推進

リーフレットによる魅力発信・簡易宿泊施設の整備

○主な取組

- ・町外者に向けた町の魅力発信のため、リーフレットを製作。バス事業者と連携し、製作物を長距離バスや空港連絡バスのシートポケットへ設置し、PR。
- ・コロナ禍で需要が高いグランピングを意識し、少人数向けの簡易宿泊施設(トレーラーハウス)を設置し、令和3年10月からオープン。併せて周辺の環境整備も実施。



○主な成果

- ・乗車時間の長いバス車内での読み物として手に取ってもらい、4か月で約1,700部のリーフレットが持ち帰られた。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大による新しい生活様式で従来の団体旅行から個人や家族などの少人数での旅行スタイルへと観光のニーズが変化したことにより、大自然の中に設置されているコテージ等の需要がより一層高まり、宿泊利用率は上昇しつつある。



人と、木と、おけと
ようこそ、置戸町へ

